

# スコットランド周遊と翼の島・スカイ島探訪の旅

ご旅行期間とご旅行代金

2027年7月12日(月)発～7月22日(木)着…¥890,000

お一人部屋利用追加料金 ¥148,000



■スコットランドを代表する観光地であるグラスゴーやエジンバラに加え、スコットランドのアルプス・グレンコー、「翼の島」スカイ島、崖の上のドラマチックな廃城・ダノター城、スコッチウィスキーの本場スペイサイドでシングルモルトの代表格・グレンフィディック蒸留所、ゴルフの聖地・セントアンドリュースなども巡る充実したスコットランド周遊の旅です。

■ゆったりとした空気が流れるスコットランドでの滞在をお楽しみください。

■日本のお客様にも評判の良い、シーフード料理もお楽しみください。



## スコットランドの系譜

スコットランドは、もともとケルト系先住民の土地でした。古代にはピクト人やブリトン人といったケルト系民族が住み、その後アイルランドからケルト系のスコット人が移住してきました。

このスコット人が9世紀ごろにピクト人を統合し、後のスコットランド王国の基礎をつくりました。つまり「スコットランド人」のルーツの一つはケルト系のスコット人であり、文化的にもケルト世界の一部として出発しています。

ケルト語派の一つであるゲール語は、現在もスコットランド北西部やハイランド・ヘブリディーズ諸島などで話されている言語で、地名・音楽・詩などに色濃く残っています。スコットランドの歴史を通じて、ケルト系の言語と、後から入ってきた英語系(アングロ・サクソン系)の言語が長く並存・競合してきたようです。

イングランドなどと比べると、スコットランドはローマ帝国の支配を完全には受けませんでした。ローマ人はイングランド北部に「ハドリアヌスの長城」を築き、より北側のケルト系住民とは対立的な関係が続きます。その後もアングロ・サクソン人やノルマン人など、非ケルト系の勢力が南や東から入り込んできますが、スコットランドはケルト系を中心とした多民族混交の中で独自の王国と文化を発展させました。

近代に入ると、スコットランド全体は政治的には「イギリス」の一部になっていきますが、ケルト起源の要素とされる・ゲール語の歌や物語・バグパイプやケルト系の旋律を持つ民謡・氏族とタータン柄のイメージなどは文化の中で強く意識され続け、「ケルト的なスコットランド」として、現在も観光やアイデンティティの核になっています。

## スコットランドの魅力はハイランドにあり

英国北部のスコットランドは独自の通貨や議会を持ち、サッカー、ラグビーのワールドカップにも一国として出場する、ある意味での独立国です。そのスコットランドではネス湖のある北部のハイランド(高地地域)とエジンバラやグラスゴーに代表される南部のローランド(低地地域)に分けられます。ローランドの方が人口も多く、比較的イングランドの雰囲気に近い印象を受けますが、ハイランドは人口が少なく、雄大な手付かずの自然がそのまま残されています。岩山が多いためごつごつとした荒々しさと、天候の安定しない寒々しさが印象深い土地ではありますが、幻想的でなぜか暖かく、何度でも訪れてみたい気持ちにさせてくれる不思議な場所です。

今回はそんな魅力的なスコットランドだけに滞在し、有名な訪問地に加え、伝統文化と美しい自然のスカイ島、断崖に残る廃城ダノター城などにも足を延ばします。「景観そのものが心の琴線に触れる土地」スコットランドの魅力を凝縮したこのコースに是非ご参加ください。

## ご利用予定ホテル

■グラスゴー／ジュリーズ・イン、グランド・セントラル、メルキュール  
■スカイ島／ボスヴィル、ポートルー  
■インヴァネス／アルドコンネル、ロイヤル・ハイランド、シスル、ラマダ  
■アバディーン／アバディーン・アルテンズ、パークイン、クレイガー  
■エジンバラ／ロイヤル・テラス、ホリデイ・イン、エイベックス・インターナショナル、ラディソン、マクドナルド・ホーリールードホテル

※上記ホテルまたは同等クラスとなります。

## ご旅行条件

■募集人数/12名様  
■最少催行人数/6名様  
■お食事/朝食8回・昼食4回・夕食8回  
■旅券残存期間/帰国時6ヶ月以上  
■羽田空港使用料/¥4,140(別途必要)  
■千歳空港より、全行程、社員添乗員同行  
■国際観光旅客税[出国税]/¥3,000(別途必要)  
■昨今の燃油価格上昇につき、燃油サーチャージは含まれておりません。別途徴収させていただきますので、何卒ご理解くださいませ。  
■ETA(欧州渡航情報認証制度)取得料・同取得手数料/¥9,900  
■パスポートコピー/カラー1枚要  
■査証用写真/1枚要[4.3cmx3.5cm・カラー・背景:白色]  
■トランク往復無料託送サービス [ご自宅～空港～ご自宅]  
■東京発着/¥15,000引き  
■大阪・中部・福岡発着/同一料金  
※ビジネス料金はお問合せ下さい。

|    | 都市名                                 | スケジュールと見どころ/お食事と宿泊地                                                                                                                                                                                                                 |
|----|-------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 千歳羽田                                | スーツケース無料託送サービス ご自宅～空港<br>■夕刻、千歳空港より航空機にて、羽田空港へ。<br>■深夜、エミレーツ航空にて、ドバイへ[00:05発]。<br>☒・☒・☒[機中泊]                                                                                                                                        |
| 2  | ドバイグラスゴー                            | ■朝、ドバイ到着後、エミレーツ航空を乗り継ぎ、スコットランド最大の都市でローランド地方のグラスゴーへ[12:45着]。<br>■午後、グラスゴー市内観光。ゴシック様式の美しいグラスゴー大聖堂、イギリス最古の大学の一つ・グラスゴー大学などへご案内します。<br>☒・☒・☒[グラスゴー泊]                                                                                     |
| 3  | グラスゴーグレンコーフォートウィリアム<br><br>スカイ島     | ■午前、ハイランド地方へ。民謡に歌われたローモンド湖や、『スコットランドのアルプス』と呼ばれる美しい緑の谷グレンコー、英国最高峰ベン・ネヴィス山の麓フォートウィリアムに立ち寄ります。<br>■午後、ロヒー湖沿いに走り、スカイ島との海峡に面したカイル・オブ・ロッホアルシュヘ。その後、伝統文化が今も残るスカイ島へ。<br>■夜、ご希望の方は地元の人々で賑わうパブへご案内します。<br>☒・☒・☒[スカイ島泊]                        |
| 4  | スカイ島<br><br>(ポートルー)                 | ■終日、『翼の島』スカイ島の観光。<br>切り立った岩山が見事なオールドマン・オブ・ストールの眺望や、キルト・ロックなど雄大な自然をご堪能ください。天候が良ければ、エメラルドグリーン色の美しい妖精のプールへご案内します(往復1時間30分の道をハイキングいたします)。また、パステルカラーの港町ポートルーの散策もお楽しみください。<br>☒・☒・☒[スカイ島泊]                                                |
| 5  | スカイ島アイリンドナン城ネス湖<br><br>インヴァネス       | ■午前、ロッホアルシュ海峡の橋を渡り、デュイック湖に浮かぶ幻想的なアイリンドナン城(外観)に立寄り、ネス湖畔の廃墟と化した古城アーカート城へご案内します。美しいネス湖とのコントラストが見事です。<br>■夕刻、ハイランド最大の街・インヴァネスへ。<br>■夜、ご希望の方は地元の人々で賑わうパブへご案内します。<br>☒・☒・☒[インヴァネス泊]                                                       |
| 6  | インヴァネスアヴィモアスペイサイド<br><br>アバディーン     | ■午前、古い太鼓橋が残るカーブリッジ村に立寄ったのち、アヴィモアにてケアンゴーム山に登山列車で登り、スペイ渓谷のパノラマを楽しみます。<br>■午後、スコッチ・ウィスキーのふるさとスペイサイドの中心地・ダフタウンにて、スコッチ・シングルモルトの代表格グレンフィディック蒸留所にご案内します。<br>■夕刻、北海に面したアバディーンへ。<br>☒・☒・☒[アバディーン泊]                                           |
| 7  | アバディーンダノター城セント・アンドリュース<br><br>エジンバラ | ■午前、数世紀に渡り海岸の要塞で、崖の上から砕け散る波を眼下に見下ろすドラマチックな岬の廃城・ダノター城へご案内します(注)。<br>■その後、ゴルフの聖地・セントアンドリュースへ。世界最古のゴルフコース「オールド・コース」や、セント・アンドリュース大聖堂をご案内します。その後、渡邊嘉一氏が現場監督を任された世界遺産フォース橋を車窓からご覧いただいたのち、エジンバラへ。<br>☒・☒・☒[エジンバラ泊]                         |
| 8  | エジンバラ<br><br>(ロスリン)                 | ■午前、世界で最も奇妙なキリスト教建築の一つで、エジンバラ郊外に位置するロスリン礼拝堂へご案内します。<br>■その後、世界遺産エジンバラ旧市街の観光。巨大な岩山の上に築かれたエジンバラ城、エジンバラの中心部が一望できるカールトンヒルなどを訪ねます。また、エジンバラ城と王室の宮殿とを結ぶロイヤル・マイルにて、のんびりとショッピングなどをお楽しみください。<br>■夜、ご希望の方は地元の人々で賑わうパブへご案内します。<br>☒・☒・☒[エジンバラ泊] |
| 9  | エジンバラグラスゴードバイ                       | ■午前、ホテルをゆっくりと出発し、グラスゴー空港へ。<br>■着後、エミレーツ航空にてドバイを経由し、帰国の途へ[14:40 発]。<br>☒・☒・☒[機中泊]                                                                                                                                                    |
| 10 | 羽田                                  | ■夜、羽田空港到着[22:20着]。<br>■着後、入国審査ののち、ホテルバスにて空港近郊のホテルへ。<br>☒・☒・☒[羽田空港近郊泊]                                                                                                                                                               |
| 11 | 羽田千歳                                | ■午前、航空機にて千歳へ。<br>■着後、解散[13:00 着]。<br>スーツケース無料託送サービス 空港～ご自宅<br>☒・☒・☒                                                                                                                                                                 |

※右記の時間は、すべて現地時間で表示されております。  
※右記の「○」はお食事の有無を示します。「※」は機内食、「×」の食事は含まれておりません。  
※現地の都合によりスケジュールが変更される場合がございます。その場合でも極力日程に従って旅行サービスがお受けになられるよう万全の手配努力を致します。  
(注)天候により、入場できない場合がございます。

